



展望台「キューピーの鼻」からのパノラマ写真

美濃攻略の舞台を一望！ 伊木山に登る

鵜沼城は、各務原市の城山じょうやまにあった城です。この城が、NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」に登場し、注目が集まりました。そしてその鵜沼城と関係が深いのが、伊木山です。同山の展望台「キューピーの鼻」からは、織田信長の美濃攻略に関する城が一望できます。伊木山に登って信長と同じ場所の景色を見て、同時に思いを馳せてみましょう。
詳細 歴史民俗資料館 ☎ 058-383-1361

信長・秀吉と各務原

永禄6年(1563年)、織田信長は本拠地を清須城(清須市)から小牧山城(小牧市)に移し、敵対する斎藤氏が治める美濃国の攻略を目指しました。

永禄8年(1565年)に犬山城を攻略した信長は、木曾川さるぼゐのほとりに位置する鵜沼城(各務原市)と猿啄城(坂祝町)を、美濃最初の攻略目標にしました。

鵜沼城は、標高95メートルの城山に築かれた山城です。城下には、尾張と美濃の国境である木曾川が流れ、東山道の渡し場でもある、交通の拠点でした。

信長はまず伊木山に登り、「伊木山城」を築いて、鵜沼城を見下ろすように陣を構え、鵜沼城を威圧。その結果、鵜沼城を守り切れないと判断した城主・大沢次郎左衛門は降伏しました。「太閤記」という、豊臣秀吉の伝記には、秀吉が大沢次郎左衛門を、信長に味方するよう勧誘したと記されています。大沢氏を引き入れた後、信長は猿啄城、堂洞城(富加町)、金山城(可

児市)など、東美濃の城を次々と攻略しました。

信長はその後、河野島(川島地域)での合戦に敗れるなど苦戦しましたが、永禄10年(1567年)に稲葉山城(岐阜城)を攻略し、美濃国を手中に収めました。

伊木山城や鵜沼城は、これ以降史料に登場しませんが、鵜沼の地は戦略上の重要地点であり続けました。天正12年(1584年)、小牧・長久手の戦いにおいて秀吉は鵜沼に布陣しました。秀吉は鵜沼から犬山への渡し場を重要視しており、船を集めさせるなど、渡し場の兩岸を固めています。このことから、鵜沼が補給拠点として重要な役割であったことがうかがえます。

城山の西側に看板を設置しました！

鵜沼城があったとされる城山(鵜沼南町7)の歴史を紹介する看板を設置しました。ぜひ、ご覧ください。
※城山への立入は禁止です

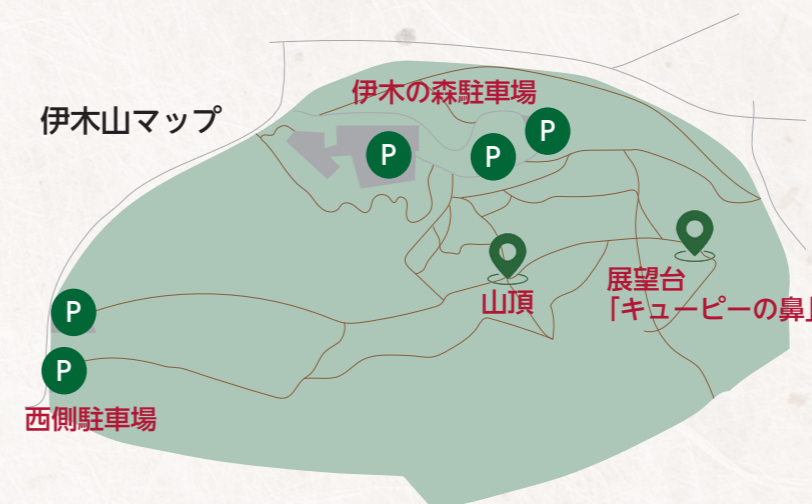


戦国時代の名残を見つけよう！

伊木山の山頂には戦国時代の城の名残として、土を削ったり盛り上げたりして作った曲輪くるわが残っています。曲輪は、攻めてくる敵を待ち構え、侵入を防ぐために作られた、平坦な地面のこと。山頂についたら、曲輪を探してみましょう。



伊木山に登ってみよう！



- 伊木の森駐車場から城跡まで、山道で約30分、山頂からキューピーの鼻展望台までは約15分、展望台から駐車場までは約30分かかります
- 伊木の森は、月曜日(その日が祝日の場合はその翌日)、年末年始(12月28日～1月4日)が休園日で、伊木の森駐車場が使えません。西側駐車場は利用できます
- 伊木山にはハチやマムシがいるため十分に注意してください。また、水分補給などの熱中症対策も十分に行ってください



動画で伊木山城・鵜沼城を紹介！

浅野市長と、市ゆかりの方との楽しいトークをお届けしている動画企画「あさけんの部屋」。今回は戦国時代の城跡がある「伊木山」を訪問。山頂では「伊木山城」について、展望台では「鵜沼城」について、市学芸員から解説を聞きました。

動画の視聴はこちら▼

